

view

NO.74

KOTOBUKI PUBLIC SPACE
MAGAZINE [view]



広がるパブリックスペースのベンチ



03 歩く人のためのまちづくり
神戸市葺合南54号線

06 新たなまちの魅力を生む休憩施設の可能性
新宿シエアラウンジ&TOKYO
／ 神田警察通り賑わい社会実験 2016

07 創立百周年。「住みやすい沿線のいちばん
になりたい。」
相模鉄道ホームベンチ

08 国産間伐材により環境負荷を低減
利用者の利便性を一番に考える
小田急電鉄ホームベンチ
京王電鉄ホームベンチ

09 回遊性を生み出す公園
メリケンパーク

10 空間イメージによって変わる素材
山下公園 未来のローズガーデン
／ 港の見える丘公園 イングリッシュローズガーデン
／ 開港広場公園

11 誰もが楽しめる場所として
目黒天空庭園

12 寄付によるベンチの設置
来場者が多様化しています
史跡足利学校
大井競馬場

13 サービスエリアを防災拠点に
守谷SA(上り線)

14 地域コミュニティの中心施設へ
西脇市茜が丘複合施設 Miraiie

TOPICS

15 第11回キッズデザイン賞受賞！
PLATZ 発行！

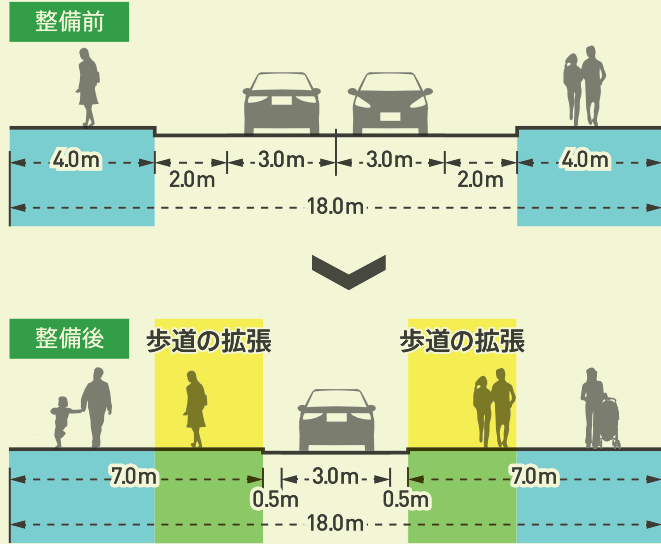
16 公園情報アプリ PARKFUL
名古屋市と公式連携スタート

17 新しい憩いの駅前広場「コフン」オープン
天理駅前広場コフン

18 南三陸に賑わいを。復興商店街がオープン！
南三陸志津川さん商店街
／ 南三陸ハマレ歌津

広がるパブリック スペースのベンチ

整備前後の歩道の使い方



車道を2車線から1車線に減らし、歩道が4mから7mへ拡張された。



歩く人のためのまちづくり

神戸市葺合南54号線（兵庫県神戸市）

街を歩く魅力

神戸の中心地三宮駅の南側、港へ向かう通りに誕生した、広い歩道空間と、憩えるベンチ。阪神・淡路大震災から20年が経った2015年、神戸市は神戸らしさを表現した「BE KOBE」を掲げ、「人のために力を尽くす」、その理念はまちづくりにも通じています。神戸の町全体として、バス停、道路、公園、これらのエリアにベンチを積極的に整備する方針で、人を中心に据えたまちづくりを展開しています。

自動車優先から歩行者優先へ

三宮駅を中心とした「えきまちエリア」の回遊性向上のための施策として、葺合南54号線が歩行者優先の道に生まれ変わりました。2車線あった車道を1車線に減らし、歩道を4mから7mに拡張。そこにベンチを配し、歩道に憩いの空間が生まれています。車道側にベンチが設置されていますが、車道を蛇行させることで走行速度の抑制を図っています。

街が人を歓迎するしつらえ

街が人を歓迎していると感じられた時、人はまたその地を訪れたいと考えます。歩道が広く歩きやすくなり、滞留場所ができたことで、通りが賑わい、この通りをあえて選んで歩くということが発生します。そのためには、見た目にキレイと

いうことも大切ですが、実際に触れてみて、使ってみた体験も重要な要素となります。

道路付属物としてのベンチ

ベンチは神戸市による設置・管理となっています。道路法により、歩道として2.5m以上を確保し、車道側にベンチを設置。交差点側は広場のような空間となっています。これらのベンチは道路付属物として設置・管理されている珍しい例です。

いずれのベンチも洋風のデザインで、神戸のモダンな街に合った意匠のベンチですが、それぞれが特徴的。意匠が異なるものの、座の素材をひのきで揃えることで、全体の雰囲気を一し、自然を感じるやさしさです。



ノブール

背中合わせの配置にしても背後が気にならず、また横から見た時の形も美しいデザイン



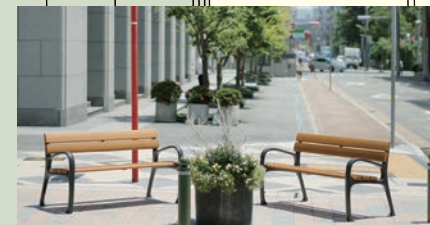
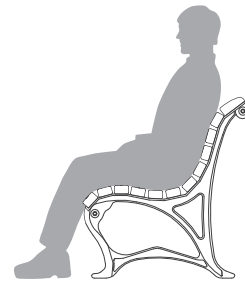
モダンクラシカル

背の下に開口部があることで軽い印象となる



ヌーボー

座面の高さは低く、体を包むような曲面により、リラックスした姿勢で座ることができ、長時間の利用も想定されたデザイン



少し内側に向けて角度が付けられている



背のすき間により、見通しがよく、軽い印象



1人でも複数人でも気兼ねなく座ることのできるベンチを配置



同じデザインで1人掛けタイプも配置



直接視線がぶつからないような工夫がなされている

- ① 1人掛け
- ② ベンチ(1800mm/1400mm)
- ③ ベンチ(背中合わせ)
- ④ 縁台タイプの4種類

新たなまちの魅力を生む
休憩施設の可能性

コトブキでは昨年、様々な社会実験に参加し、新たなまちの魅力を生む休憩施設の可能性について研究を重ねてきました。

昨年9月23日から30日まで新宿西口エリアで実施された「新宿シェアラウンジ&TOKYO」(一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会主催)では、広幅員の歩道にデザインされたベンチを置いて、ベンチの使い方や利用者動向を調査しました。さらに11月25日には「神田警察通り賑わい社会実験2016」(神田警察通り賑わい社会実験実行委員会主催)において車道

に休憩施設を設置し、道路で休むことの可能性について地域住民や地元協議会とともに考える機会を得ました。

そのほかにも歩道に遊具を展開する、みんなで椅子を作ってみるワークショップを実施するなどの活動を通して、新たなまちの魅力を彩るストリートファニチャーのアイデアを熟成させているところです。

道路空間のさらなる活用や公園のあり方そのものが変わってきている社会の中で、私たちの製品も進化をしてゆかなければならないと考えています。



新宿シェアラウンジ&TOKYO



神田警察通り賑わい社会実験 2016

創立百周年。

「住みやすい沿線のいちばんになりたい。」

2017年に創立百周年を迎える相模鉄道では、デザインブランドアッププロジェクトとして、電車やユニフォーム、駅舎などのデザインを一新する中で、全25駅のホームベンチについても新たなオリジナルデザインでリニューアルされました。1席の幅が通常のベンチより広く、親子でひとつの座席に掛けられたり、荷物を隣に置くことができる広さになっています。隣のひととの距離もあるため、駅でよく見られるような間隔を空けて座るといふムダもなくなります。



相模鉄道 ホームベンチ
(神奈川県横浜市、大和市、海老名市、藤沢市)

親子と一緒に座っても十分な広さ



小田急電鉄 ホームベンチ(東京都)

狛江駅

国産間伐材により 環境負荷を低減

駅のホームのベンチの役割は「電車を待つ時間も含め、駅で誰もが安心して過ごしていただくため」と考える小田急電鉄。ベンチには国産の間伐材を利用することで環境への負荷をなくし、天然木の持つ見た目にも優しい風合いを大切に、コーティングなどで防腐等の処理を行っています。



鶴川駅



京王電鉄 ホームベンチ(東京都)

多摩動物公園駅



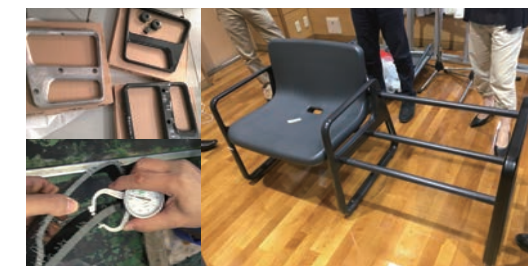
ゆめが丘駅 待ち時間もゆったり快適に過ごせる



湘南台駅 地下ホームにも合うインテリアのような質感

PRODUCT

座面は樹脂を空気で膨らます「ブロー成形」。中空構造で空気がクッションとなり、着座の際、柔らかく感じます。座面の幅が666mmとこれまでに経験のないサイズなので、その実現に向け、仕上がりの美しさや強度など、さまざまな検証を重ねていきました。



試作品検討の様子



完成したベンチ

利用者の利便性を 一番に考える

京王電鉄では、利用者の安全性を考慮し、「ベンチから立ち上がってまっすぐ歩き出しそのまま転落する」というケースを防ぐため、一部の駅ではベンチの向きが電車の進行方向と垂直になるよう配置されています。また、循環型社会を目指す取り組みの一環として、京王沿線の多摩地域の間伐材を使用したホームベンチの設置を進めています。



高井戸駅





山下公園 未来のローズガーデン(神奈川県横浜市)

開けたローズガーデンで通路なども広めに取られており、1800mm幅のベンチを設置。ゆったりと座り、海を望みながらバラを楽しむことができる



港の見える丘公園 イングリッシュローズガーデン(神奈川県横浜市)

素材は防虫・防腐・防カビ処理を行ったひのきを使用。脚部は色を他のファニチュアと統一したグリーンとし、庭の中に点在するため、サイズは1400mm幅と小さくコンパクトになっている



開港広場公園(神奈川県横浜市)

日米和親条約締結の地であり、横浜の開港を記念し、1982年に高橋志保彦氏が設計した広場で、2016年に再整備された。木部はシックな色味チャコールの再生木材を採用し、広場の落ち着いた雰囲気とマッチしている

回遊性を生み出す公園
神戸市内でも有名な観光名所ともなっているメリケンパークが開港150年を機に、より賑わいのある海辺空間にするため、リニューアルされました。神戸市は魅力あるスポットをつなぎ、回遊性のあるまちづくりを目指しています。このリニューアルに伴い、カフェや「BE KOBE」のモニュメント、桜並木、夜間のライトアップなど、さらに気持ちのよい魅力ある場となりました。



メリケンパーク(兵庫県神戸市)

海沿いには背なしタイプのエフラインが増設。ベンチがあっても視界が開けており、景色を楽しむことができるベンチの数を増やし、一休みして景色を眺めりフレッシュすることで、次への行動へつながり、回遊性を生み出していく



公園の内陸側には背付きのエフラインが設置。海沿いのベンチとデザインは統一され、ゆったりと背を預けて座れる場所も用意されている

空間イメージによって変わる素材

横浜市の港エリアにある山下公園、港の見える丘公園、開港広場公園。緑化フェアの開催に合わせて、山下公園、港の見える丘公園にはどちらもローズガーデンが新たに整備され、ベンチも新しくなりました。ヌーボーというヨーロッパ風のデザインのもの選ばれており、空間のデザインに合わせて、色やサイズが一部変更されています。

PRODUCT

ヌーボー 同じ形状でも、素材の質感や色によって印象が大きく異なります。



ひのきメイプル



チャコール



レッド

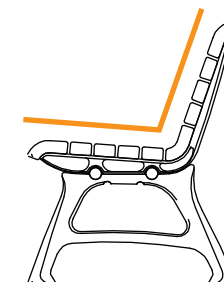
PRODUCT

エフライン

背付き

景色を隠す面積が増え、ベンチの存在感が増します。

- 座る向きが固定
- もたれかかり、ゆっくり座れる。



背なし

視線が通り、海を見る人の視線を遮らず、ベンチの存在感を感じません。

- 座る向きが自由
- もたれかかることはできないので、短時間の滞在となる。



誰もが楽しめる場所として

首都高速中央環状線と3号線を結ぶジャンクションの屋上に作られた回遊式天空庭園です。最上部からは富士山を望むことができます。コンセプトとして「十の庭」を配し、さまざまな景を回遊しながら、和の文化を発見できる場所となっています。庭園自体がスロープで緩やかにつながっており、車椅子でも散策を楽しむこともできます。また、ベンチの隣には車椅子で並べるスペースがあります。また、工夫がなされています。テーブルセットも、脚部を内側に曲げることで、車椅子が入りやすいよう設計されています。



目黒天空庭園 (東京都目黒区)

平らなスペースがベンチの隣に確保されている。車椅子やベビーカーも横並びで休憩できる

寄付による ベンチの設置

2015年に足利学校は日本遺産に認定されました。それを記念し、足利学校の入口前に地域住民の寄付によるベンチが設置されました。シニアの観光客が多く、ひと通り周辺を巡った後に、座って休める場所として利用されています。ベンチで休んでは次の場所へ向かう。そんな観光客の姿が日常的に見られます。

史跡足利学校 (栃木県足利市)



肘があることで立ち座りが非常にしやすくなる。手で握る部分については、金属ではなく樹脂を使用



寄贈銘板



大井競馬場 (東京都品川区)

来場者が 多様化しています

近年では、家族連れや若いカップルなど利用者が多様化している競馬場施設としても、多様な方に競馬を身近に感じてもらえるような仕掛けを行い、イベントなどを企画しています。その中で広場の改修に伴い、テーブルとベンチが一体となったファニチュアが整備されました。

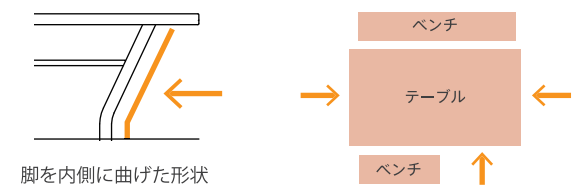


PRODUCT

ピクニックテーブル

車椅子やベビーカーのアクセスが容易になります。

- テーブルの脚を内側に曲げることで車椅子でのアクセスが容易
- 片方のベンチを短くすることで車椅子で3方向からアクセスが可能





サービスエリア全体が防災拠点として設計されている

サービスエリアを 防災拠点に

東日本大震災の際に、実際にサービスエリアが被災地への前線基地として活用されました。その経験から、モデル事業として首都直下型地震などの広域災害時の防衛拠点化機能が搭載された、守谷サービスエリアがオープン。普段、飲食のために利用されるフードコートを、災害時には共同災害対策室として活用できるように設計されています。炊き出しエリアにはかまどベンチ、防災シェルターが設置され、災害発生時にはかまどベンチによる炊き出しが行われます。



炊き出しエリアにはかまどベンチ、防災シェルターが設置

地域コミュニティの 中心施設へ

図書館・こどもプラザ(児童館/子育て学習センター)、男女共同参画センター、コミュニティセンターの4つの機能を併せ持つ施設です。屋外は複合遊具が設置され、子どもたちが体全体を使って遊ぶことができます。周囲には背なしのベンチを設置。さらに周囲の園路脇などには、ピクニックテーブルやシェルター付きのテーブル・ベンチなどが設置され、お昼ご飯やおやつなど、子どもたちとゆっくり食べられる場所が用意されています。



背なしベンチは子どもを見守る際に視線が遮られず、また方向に関係なく座れる



遊具の周辺には、ピクニックテーブルやベンチ、シェルター付きベンチ等、複数種類のファニチュアが配置

PRODUCT

かまどベンチ

災害発生時には、かまどとして炊き出しが行えます。

- 訓練の繰り返しによる汚れ防止
- 炭置きを浮かせることで、床面の高温化を緩和
- 取り外したベンチは利用可能



かまどベンチ。防災拠点としても機能している



シェルターとテーブル・ベンチがセットに



子どもを見守りつつ保護者同士のコミュニケーションも

第11回キッズデザイン賞受賞！



2017年4月より発売を開始いたしました「モーグルヒル」がキッズデザイン賞にて「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」を受賞しました。「モーグルヒル」は、集団での自由な外遊びの価値を改めて考え、土手や築山といった自然の遊び場を再現した複合遊具アイテムです。一度に大勢の子どもたちが関わり合い、創意工夫しながら自由に遊びを展開できます。何度も登り降りしたくなる大きな波打った斜面と、安心・安全面の向上を考えた半透明の素材による斜面裏側の明るい遊び空間が特徴です。

キッズデザイン賞とは
 キッズデザイン賞は、「子どもが安全に暮らす」「子どもが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」ための製品・空間・サービスで優れたものを選び、広く社会へ伝えることを目的としています。子どもが使う製品はもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てへの配慮があれば応募可能です。日用品から住宅、街づくり、ワークショップ、調査研究まで幅広い分野が対象となっています。

PLATZ 発行！
 商空間・遊空間・住空間向け整備



ストリートファニチュアを中心として、各空間の課題解決をご提案。その空間に必要な製品から先端事例までご紹介しております。

公園情報アプリ PARKFUL
 名古屋市と公式連携スタート

コトラボと名古屋市は2017年5月22日、「公園情報の発信と活用に関する協定」を締結。PARKFULを通じた名古屋市の公園情報の発信をスタートさせました。このプロジェクトを推進された名古屋市緑地利活用室の佐藤氏、宮川氏にお話を伺いました。

市民へ情報を届けるチャンネルを増やす
 ― 今回、PARKFULを活用していただく決め手となったのはどのような点ですか？

宮川氏 まず、ユーザーとなる市民のみなさんにとって便利なアプリだと感じました。名古屋市ではこれまで独自の公園検索システムを公開していましたが、マップで探せる機能などはありませんでした。そこまでの機能を市で準備するのはコストも手間もかなり、なかなか難しいのが実状です。

佐藤氏 より多くの方に情報を届けるためには、媒体の選択肢を増やすことが必要だと考えていますので、こうした時代にマッチした新しい情報発信のチャンネルを持つことができれば、私たちにとても大きなメリットです。

「いつもの公園」の一步先へ
 ― 市民のみなさんにはPARKFULをどのように利用してもらいたいですか？

佐藤氏 いつも利用する決まった公園のことしか知らない方が意外と多いです。しかしその公園がメンテナンスなどで使えないこともあります。そんなとき、ちょっと足を延ばすだけで色んな公園があることを知ってもらえればと思っています。PARKFULであれば現在地からの距離も出るので、ここだったら行けるかなという目安にもなりますね。実は日常生活の中で利用している範囲はみなさん狭いので、PARKFULをきっかけに広がっていただ



ければと思います。

宮川氏 地域の方からは、どんな遊具があるか知りたいという声もよく聞かれます。今回PARKFULに遊具の情報をすべて登録したので、ぜひ活用していただけたら嬉しいですね。また観光客の方などにも便利ではないかと思っています。土地勘がなく地名で探すのが難しい場合でも、PARKFULならマップ上で探すことができますから。

市民による情報発信へ
 ― 市民のみなさんの公園への関わり方はいかがでしょうか？

佐藤氏 名古屋市ではほとんどの公園に愛護会があり、町内会のみなさんを中心に清掃活動などをしていただいています。一方で、公園を拠点として何かをしようという人はまだまだ少ないのが現状です。若い人や子どもたちに公園の利活用を企画してもらえような、「担い手」づくりの仕組みがこれからの公園の賑わいづくりに必要ではないかと考えています。

宮川氏 PARKFULでも、役所では発信することが難しいような、日常のちょっとした公園の出来事や魅力を市民のみなさん自身に発信してもらえようかと考えています。市民の方が公園でイベントなどをやる際の情報発信にもPARKFULが使えるそうですね。今度の週末、○○公園でバスケットボールの試合をやりませうよ！という情報があってもいいと思います。



名古屋市内にある1470カ所の公園をすべて登録

新しい憩いの駅前広場
「コフフン」オープン

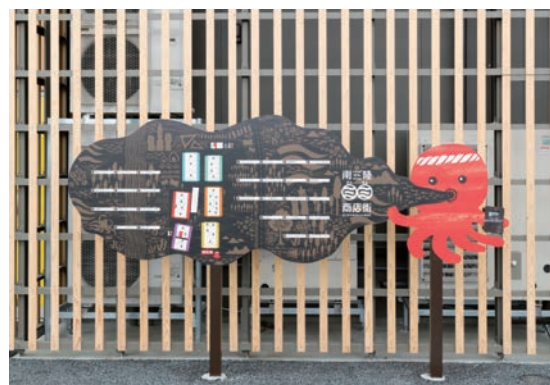


JR・近鉄天理駅の駅前広場が、まちの元気をつなぐ賑わいづくりの拠点として2017年4月にリニューアルオープンしました。天理市内に1600基もの数が点在する古墳をモチーフに、「歴史」「地理」「文化」の3つの要素を凝縮したデザインの広場となっています。カフェや野外ステージなどの機能を持つ5つ

の大きな古墳と、子ども向けの遊具やロコモ度テストなどができる健康器具が揃った多目的の広場で構成された、子どもからシニアまで楽しく過ごせる憩いの広場です。遊具や健康器具は裸足で駆け回れる芝生の上に設置され、景観に合わせて茶色をベースにした色合いとなっています。

天理駅 駅前広場コフフン(奈良県天理市)

南三陸に賑わいを。
復興商店街がオープン！



南三陸志津川さんさん商店街
南三陸ハマレ歌津
(宮城県本吉郡南三陸町)

復興を担う地元の事業者により賑わいの再生拠点として仮設店舗で運営されてきた商店街。東日本大震災から6年を経た2017年、新しく本設がオープンしました。南三陸町全体のグランドデザイン及び商店街の建築設計は、建築家の隈研吾氏によるもので、地元の南三陸材を使っているという、この地ならではの温かみのある建物が連なっています。案内サインには、地元の海産物や南三陸町とゆかりのあるモチーフで可愛いイラストが描かれています。サイングラフィックはGoen. 森本千絵氏によってデザインされました。地元のアイデンティティを大切にしたい商店街に、今後もより一層賑わいが期待されています。

K・O・T・O・B・U・K・I

株式会社コトブキ

townscape.kotobuki.co.jp

お問合せは、お近くの営業所まで

札幌支店	011-221-3496	東京支店	03-5733-6676	関西支店	06-4801-8265
青森営業所	017-761-1371	横浜支店	045-277-5111	神戸営業所	078-252-0376
岩手事務所	019-629-2087	新潟営業所	025-248-6200	中国支店	082-297-4546
東北支店	022-742-0731	長野営業所	026-238-8321	高松営業所	087-869-8770
水戸営業所	029-225-8222	金沢営業所	076-247-7422	九州支店	092-441-0763
北関東営業所	0287-45-1415	静岡営業所	054-205-7161	鹿児島営業所	099-258-2361
埼玉支店	048-871-1030	名古屋支店	052-386-5067	沖縄営業所	098-863-7803
千葉営業所	043-204-3211	京都営業所	075-582-8335		